

嚥下リハビリ入院の ご案内



最後まで口から食べることを
日本一支援する病院プロジェクト

えんげ

嚥下障害とは…食べ物
などがうまく飲み込めな
くなる状態を言います

こんな症状ありませんか？

- ☑ 飲み込みに問題がある
- ☑ ムセがみられる
- ☑ うまく咀嚼できない など

当院の嚥下外来を受診された方を対象に、嚥下リハビリ入院を実施しています。嚥下リハビリ病棟での入院では、嚥下の研修を受けたスタッフが中心に介入します。

病棟での
嚥下検査



多職種
カンファレンス



嚥下体操



嚥下リハビリ入院をご検討の方は、
まずは嚥下外来を受診してください。

★詳細は、病院ホームページをご覧ください

阪和第二泉北病院 嚥下リハビリ



医療法人 錦秀会

阪和第二泉北病院

〒599-8271 堺市中区深井北町3176番地

お気軽にお問合せください

☎ 072-277-1401

(電話受付：平日：9：00～16：45)



多職種連携で介入を行います！



- ・嚥下評価
- ・嚥下・口腔訓練
- ・食事ケア



- ・食事動作練習
- ・座位姿勢調整
- ・食具調整

服薬調整

- ・嚥下体操
- ・離床
- ・整容動作
- ・食事姿勢調整
- ・食事介助

退院調整

主治医

ST

OT

FT
介護



PT

FT
NS

MSW

歯科

口腔ケア

- ・座位評価・練習
- ・ADL訓練等
- ・呼吸練習

栄養指導



- ・摂食機能療法
- ・自己練習のフォロー
- ・カンファレンス



入院時嚥下評価

リハビリ
介入

カンファ
レンス

退院前
嚥下指導

VE検査やVF検査を実施し、嚥下評価をします。

午前と午後にPT/OT/STによるリハビリを行います。

毎週多職種でカンファレンスを実施しています。

退院後も統一した食事介助ができるように伝達します。



嚥下に関する講義を毎月実施しています。

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士や、3学会合同呼吸療法認定士といったスタッフも介入します！



FT研修の様子

※嚥下外来集中リハビリ入院は、専用病棟への入院となります。受け入れ定員によっては、入院をお待ちいただくことがあります。また、患者様の状態に応じて、**経口摂取が難しいと判断されることがあります**。長期入院が必要となった場合は、当院の療養病棟へ転ベッドとなることがあります。